



技能実習生活に必ず役立つにほんご Part 4

第2回 ぴったり

こうまきしゃだんほうじん こくさいにほんごふきゅうかい 武田 由美
イラスト：リオ輔

1



1 職場ではいろいろな道具を使います。道具を使うとき、ちょうどいいサイズの道具を使わなければいけません。例えば、ねじをしめるとき、ドライバーを使います。ねじの上の部分にドライバーを入れる+や-の穴があります。小さい山みたいです。これを「ネジ頭」と言います。ドライバーの先とこのネジ頭の大きさがちょうど合うとき、「ぴったり」と言います。「ぴったり」のとき、上手にドライバーを回すことができます。「ぴったり」じゃないとき、ドライバーが回りません。「ぴったり」の道具を使って、いい仕事をしましょう。靴もサイズが合わないとき、足が痛くなります。

2

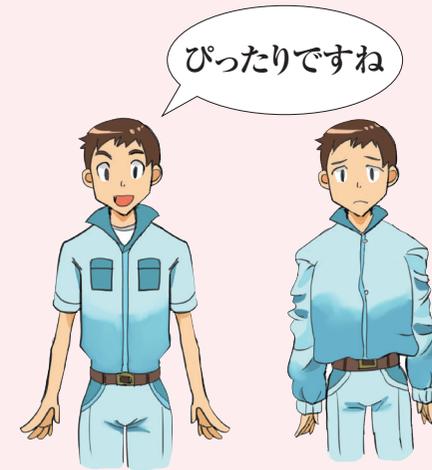


ちょうどいいサイズの靴のことも「この靴はぴったりです」と言います。足に「ぴったり」の靴は、歩きやすいです。遠くまで歩くことができます。

2 ポスターを壁に貼りました。そのポスターは、壁に全部くっついてます。ポスターと壁が完全にくっついてるとき、「ポスターをぴったり貼ります」と言います。

窓を閉めるときにも「ぴったり」を使って、説明します。風が入らないように窓を閉めます。ぜんぜん開いていません。隙間がありません。そのときも、「窓をぴったり閉めます」と言います。少し開いているときは、「ぴったり」と言うことができません。

3



3 暑くなりましたね。もう夏です。制服も夏服に変わります。職場の人に会ったとき、夏の制服がとても似合っていました。サイズもちょうどいいです。その人に「いいですね、よく似合いますね」と言います。その人によく似合っているとき、「ぴったりですね」と言うことができます。めがねやネクタイなどが似合っているときも、「ぴったりですね」と言います。また、とても絵を描くのが好きな同僚が、来週からデザインの仕事をします。その人に会った仕事です。いいですね。仕事がその人に合っているときも「その仕事は、リーさんにぴったりですね」と言うことができます。